

入社式

4月1日、9人の新入社員を迎えて、新本社で初めての入社式が行われました。新元号となる「令和」が発表された日でもあり、思いで深い日になったことでしょう。文字通り令和の時代を担う元気な若者たちの、今後の成長、活躍が楽しみです。



経営方針発表会

4月10日に、昨年と同じ国際センターの会議室で、行われました。昨年度の表彰部門は、最優秀賞に、東海統括課、敢闘賞に岡崎店、住宅メンテナンス岐阜営業所、エコエネルギー課が選ばれました。どの部門も売上を大きく伸ばすとともに、利益にも大きく貢献してくれました。個人賞には、名古屋営業所の濱地さん、東京中央営業所の嶋方さん、エコエネルギー課の中安さん、東海統括課の石田さん、そして新人賞に春日井店の長尾さんが選ばれました。皆さん、数字上でも大きく貢献するとともに、大変評判のいい活動で、会社の好感度アップにも寄与してくれました。皆さん、一年間ご苦労様でした。そして、今年も引き続き会社を牽引していただけますようよろしくお願いいたします。研修会では、働き方改革、パワーハラスメント、メンタルトラブルなどについて行われました。当社においては、現実的な問題として差し迫ったものはありませんが、常に良い環境で業務にあたれるように、問題になる前に小さな問題を摘んでいけるように部門長だけでなく、全員で取り組んでいきましょう。閉会後は、国際センターの最上階にある中華料理「東天紅」で懇親会が行われ、表彰者、新入社員も招待され、盛大に執り行われました。当社の懇親会は、キックオフミーティングでもそうですが、いつも大変元気に盛り上がり、あつという間の2時間でした。元気で仲がいいのが、最大の強みかもしれません。



協力業者会総会

協力業者会の総会、安全大会、研修会が、以下のように行われました。今年で第13回となり、会員数も徐々に増加し、だんだん大きな会となつていっています。今年の総会で、東海と東海法人の協力業者会を合併し、事業ごとに部会を設けて活動する案が可決され、新たなスタートとなります。会社の組織も専門性を高めていくために事業ごとに再編していますが、その同じ流れで、協力業者の皆さん、メーカーの皆さんにも広く活躍していただけるようになることと思います。

- ・ 4月6日 京都タワーホテル
関西 NITTOH 協力業者会
- ・ 4月11日 セブンハウス事務所
セブン会
- ・ 4月13日 TKP 名駅桜通口
東海・東海法人 NITTOH 協力業者会
- ・ 4月21日 京王プラザホテル多摩
関東 NITTOH 協力業者会

講師の方を招いての講演会は、今年も協力業者の皆さん方からの評判もよく、会を運営している社員の皆さんはホツとしているところでしょう。講師の方々には以下の通りでした。

関西：羽川英樹さん(元読売テレビアナウンサー)

東海：湯浅景元さん(中京大学体育学部名誉教授：スケート部部长)

関東：黒川勇人(缶詰博士・タレント)

協力業者の皆さんには、労災など事故もなく、また、品質・サービスにおいても大変協力していただき、協力業者会として、総会、安全大会、研修会と当社ほど長時間行うところはないという噂もありますが、その甲斐があったかどうかはわかりませんが、当社の協力業者の皆さんは、大変良心的で優秀であることに間違いありません。また、これだけ長い時間の会が運営でき、懇親会でも和気あいあいとできるのは、普段からの仕事の取り組み方、協力業者の方々、社員の方々の努力の成果ではないかと思えます。当社としても、安定的な仕事の発注が継続できるように、また時代の変化にも対応していけるように努力を続け、良い関係を継続していきましょう。

働き方改革

働き方改革関連法案で、色々と気を付

けないといけない点がありますが、当社としては、以下の2点をまず、注意して下さい。

- ＊有給休暇の年間5日以上取得
- ＊通常的时间外残業と休日出勤の合算数字で管理

健康経営の目標

2019 健康経営優良法人に認定していただきましたが、2020 の認定も目指し、以下の3項目を重点に活動していきます。

- ＊喫煙率の低下
- ＊運動習慣の定着
- ＊メンタルトラブルゼロ

交通事故の削減

昨年度も、交通事故が多く発生してしまいました。なかなか減少しないというのが、ここ数年の傾向です。交通事故は、お金、時間、健康と本人も相手の方も大変な損失です。この損失の大きさを、よく理解することが大切だと思います。特に、時間損失をお金に換算したら、大変大きいです。ちょっとした不注意というのを無くしましょう。

会社案内の刷新

本社の引越しがあつたこともあり、会社案内を刷新しました。営業で配られることのある方は、説明するのに目を通すことと思いますが、そうでない方も是非一度よく目を通して下さい。方針、社是、歴史といったところは、社外では会社の代表として説明するわけで、直接それらを説明することは、あまりないと思いますが、そうしたことを理解して、営業の話をする場合と、そうでない場合とでは話し方やニュアンスに微妙な違いが生まれ、相手方への伝わり方、理解に違いを生じさせると思っています。良きパートナーを得ること、そして長い目での成長に影響を与えます。

ナゴヤ球場

本社近くに、名古屋ドームが出来るまでは中日球場と呼ばれたナゴヤ球場があります。現在は、ナイター設備が撤去され、スタンドも縮小され、地方球場のような趣ですが、隣接してドラゴンズ選手の寮や室内練習場があり、ドラゴンズの2軍の試合が行われます。会社にウエスタンリーグの試合の2枚のフリーパスがあるので、試合観戦を希望される方は、総務まで。最近では根尾選手の人気で、土日の試合は結構賑わっています。



施工事例紹介

- 施工場所 愛知県額田郡幸田町
- 建物構造 木造軸組み
- 工事名 新築工事 注文住宅



■担当 セブンハウス事業部 西岡 伸樹

お客様のご要望はリビング階段による家族の気配を常に感じられる間取りで、当初は鉄骨のスケルトン階段を希望されていましたが予算の関係で断念。そこで通常の木製階段を片側オープンにして手摺のみスチールにし、階段下を可愛く開口造作する提案をしたところ気に入っていただき採用することになりました。予算も当初の 3 分の 1 に抑えることができ、今ではお子様のお気に入りの場所になっているようです。予算が合わずやりたいことを単純に諦めてもらうのではなく、それに代わる案を提示することで結果的に満足していただくことが出来た好事例です。

ちょっと一言

「光陰矢のごとし」



設備事業部 関東統括課
林 直輝

お疲れ様です。設備事業部 関東統括課の林です。元号が 31 年ぶりに令和に変わり、今までにない長さのゴールデンウィークを皆様如何お過ごしでしたでしょうか？など書きつつ、これを書いているときはまだ元号が変わるまで日があるので、不思議な気分です。

改めて思えば時間の流れとは不可思議なもので、子供の頃より今の方が時間の流れが早く感じます。これは週や月、年という大きな単位だけでなく、時計を見ながら 1 秒 2 秒と数える早さすら昔より早く感じるものですから困りものです。

調べてみるとこの感覚は 19 世紀にフランスでジャンナーの法則と名付けられ、知られているとのことです。この法則によれば、生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例します。そのため人生の折り返し地点は想像よりかなり早く、なんと 19 歳！社会に出たらもう人生が半分過ぎ去っていたというのは怖いですね。

このジャンナーの法則を人が感じる理由は明確にはいませんが、一説によれば時間が早く感じるのは、「新体験」が減るからだと言われています。子供のころは見るもの、やることその全てが驚きと新鮮に溢れ強い記憶に残ります。しかし大人になると見るもの、やることは一通り経験したことがあるものが多く、さほど印象には残りません。結果として時間の心理的長さが変わるということです。

つまりこの感覚に能動的に抗う方法は、積極的に「新体験」を獲得していくことです。新しいことに挑戦する。新しい趣味を始める。引越しをしてみる。などといった方法です。

驚きと新鮮の中にいることが、心理的、体感的に長生きする効果的な方法なのでしょう。

入社社員紹介

- ★原川 淳二 リニューアル工事部 49 歳
資格:一級防水施工技能士
趣味:釣り
「年齢は至っていますが、頑張りたいと思います。」
- ★山下 龍太郎 大阪事業部 北陸営業所 30 歳
趣味:ペットと遊ぶこと、料理
「無駄な時間を作らないよう、勤務管理をしっかりと頑張ります。」

★Happy News★

ご結婚おめでとうございます

★法人事業部岐阜営業所 熊崎さん
4 月結婚